

今月の PICK UP

『サーカスの子』 稲泉 連／著 講談社 779.51

幼い頃にサーカスで暮らした経験を持つ著者が、当時の芸人たちを訪ね、サーカスの世界で生きた理由とその後の人生を聞いて歩きます。

旅と祝祭を日常とするサーカス、そこは華やかな芸と人々の色濃い共同生活が同居する世界。夢と現実が混じりあう「あわい」の場所。かつて日本に確かに存在したその場所は、著者や元団員たちにとって、まぎれもない故郷でありました。そこで暮らしたことがない読者にも、あるはずのない懐かしい記憶をよみがえらせてくれるような1冊です。



『本屋で待つ』 佐藤 友則・島田 潤一郎／著 夏葉社 024.1サ



山間にある小さな本屋。地域の人々は本を買いに来るだけでなく、困りごとの相談に訪れます。日常の安心を求める大人たちや、社会とのつながりを見つけない若者たちがこの本屋にやってくるのです。決して何でもそろう大きな本屋でもなく、駅前の便利な本屋でもないけれど、その場所にはなくてはならない大切な本屋なのです。本屋と地域の人々が互いに関わる中で、店も人も成長していく姿が描かれています。



司書の
おすすめ

『世界の台所探検 料理から暮らしと社会がみえる』 岡根谷 実里／著 青幻社 596オ

「世界の台所探検家」として活動している著者は、世界各地の家庭の台所を訪れて一緒に料理をしています。今まで訪れた場所は60以上にもなり、アジア・ヨーロッパ・中南米・アフリカ・中東と多岐にわたります。そんな「台所探検」をまとめたこの本は、著者の言葉通り料理から様々な人の暮らしがかいま見えて、たくさんの発見や楽しさが詰まっています。写真やちょっとした豆知識が随所にあるので、今まで知らなかった世界がより鮮明に感じられて読んでいてわくわくします。



『ソマリランドからアメリカを超える』 ジョナサン・スター／著

黒住 奈央子・御船 由美子／訳 KADOKAWA 372.4入



東アフリカにある世界地図にも載っていない未承認国家、ソマリランド。2009年、その国に著者が私財を投じて高校を作りました。なぜ企業の経営者だったアメリカ人の彼が校長に？なぜソマリランドだったのか？ 妨害、脅迫など次々に起こるトラブルに立ち向かい、まずは高校で学ぶこと、そしてその先の大学進学や留学という目標に向かって、生徒たちと著者をはじめとする教師たちが共に突き進む姿に胸が熱くなります。

『船体解剖図』 プニップクルーズ・中村 辰美／イラスト・文 イカロス出版 550フ

船好きの著者は、プニップクルーズの創作ネームで活躍する船専門のイラストレーターです。彼の描く船はコミカルなタッチでデフォルメされ、船体の内部を表皮を切り開く解剖のように図解されています。本書では客船“にっぽん丸”、タグボート“魁”、歴史を語る帆船“明治丸”や南極観測船“宗谷”、最新鋭の“QUEEN BEETLE”まで36隻が紹介されています。もちろん、学習船“うみのこ(2代目)”も描かれています。ご家族みなさんと楽しめる1冊です。

